

改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略実施状況一覧

資料4

基本目標Ⅰ 安全で安心して暮らせるまち （１）ほっとわらび！安全安心プロジェクト

数値目標	指標		現状値		実績値			目標値	担当課
			平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	
	家庭等における災害への備え実施率（市民意識調査）		81.0%	81.7%	78.6%	87.9%	82.2%	90%	安全安心課
	指標		現状値	実績値			目標値		担当課
①自助・共助・公助の連携を高めた防災都市づくり			平成２９年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	安全安心課
	犯罪発生件数		871件	692件	535件	599件	695件	平成29年から10%削減	
	指標		現状値	実績値			目標値		担当課
			平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	
①自助・共助・公助の連携を高めた防災都市づくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値		担当課
		避難所運営訓練の実施校の割合	40.0%	60.0%	60.0%	90.0%	100%	100%	安全安心課
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容					担当課
		自主防災組織への支援と災害応急対策の強化		令和５年度中に全１９か所の指定避難所に避難所運営協議会を設置。					安全安心課
		上下水道の耐震化と長寿命化促進		（水道） 管路更新計画に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進め、重要施設配水管路の耐震適合率は、令和５年度当初の８９．１％から令和５年度末時点で９２．８％まで上昇した。 （下水道） 下水道管路長寿命化基本計画（平成２８年度策定）に基づき、第１期改築工事完了。令和４年度から第２期改築工事に着手し、令和６年度完了予定。					下水道課 水道部維持管理課
		防災拠点となる新庁舎の整備		令和２年４月に誰もが利用しやすい庁舎に向けたユニバーサルデザイン計画なども考慮した「新庁舎建設基本設計」を策定し、３年２月に「新庁舎建設実施設計概要」を策定。あわせて、令和２年10月までに仮設庁舎等への移転を行い、12月に旧庁舎の解体工事に着手、３年６月に旧庁舎の解体工事を完了し、７月に新庁舎建設工事に着手した。その後、着実に新庁舎建設事業を進め、５年10月２日に部分開庁、10月10日に全面開庁した。なお、新庁舎は免震構造による極めて高い安全性を備え、新たに非常用発電設備や太陽光パネル、防災情報システムなどを導入するなど、防災拠点としての機能強化を図った。					庁舎建設課（政策課）
②犯罪のない明るい地域づくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値		担当課
		自主防犯組織を含む防犯ボランティア団体数	47団体	47団体	47団体	47団体	47団体	52団体	安全安心課
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容					担当課
		第３期防犯計画の着実な推進		市内全域にある１４０台の防犯カメラについて、警察等に対して映像提供を行うなど犯罪被害防止や犯罪抑止力の向上に努めた。また、振り込め詐欺防止のため、６５歳以上の高齢者を対象に通話録音装置の無償貸与事業を実施していたが、令和３年度からは、市内在住の６５歳以上の高齢者世帯を対象に通話録音機能付き電話機の購入費用に対して、２万円を上限として、補助金を交付する事業を実施し、令和３年度は１９世帯、令和４年度は３７世帯、令和５年度は５９世帯からの申し込みがあった。					安全安心課

基本目標Ⅱ 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち （２）キラリわらび！子ども未来プロジェクト

		指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
		出生数	569人	567人	508人	485人	496人	650人	市民課	
数値目標	指標		現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
	保育園待機児童数		10人 (各年４月１日現在)	２人	０人	０人	１人	０人	子ども未来課	
①切れ目のない支援による子育てしたいまちづくり	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
		子育てしやすいと思う市民の割合（市民意識調査）※カッコ内は、１８歳未満の子どもがいる方の回答（ただし、令和４年度以降は、18歳未満の子どもがいる方のみ回答）	44.1% (71.4%)	52.5% (81.5%)	39.7% (75.5%)	78.7%	85.4%	50%	子ども未来課	
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容						担当課
		子育てしたいまち情報発信事業		令和４年秋に子育てしたいまち情報冊子を５，０００部増刷（２年分。前回分から内容更新）。市内公共施設に配架したほか、宅建協会南彩支部（６０社以上）に定期的に配架依頼をしている。						秘書広報課
		子育て包括支援センター事業の充実		子育て世代包括支援センターを保健センター内に設置（令和元年６月）。その後、児童福祉法の改正により、令和５年10月より「こども家庭センター」に名称を変更し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援等を行う機関を保健センター（通称：わらべび）と子ども未来課（通所：わらここ）に設置した。子育て世代包括支援センター機能を有する「わらべび」では、妊娠届出時の面接等により、妊娠状況についての心配事などのアセスメントを行い、継続的な支援が必要な場合には支援プランを作成（令和５年度アセスメント対象者：594人、実施者：589人、支援プラン作成者：27人）するとともに、子育て期の個別相談事業「子育て相談広場」を実施するなど、妊娠期から子育て期の切れ目のない相談支援を実施した。						保健センター
		子ども家庭総合支援拠点の整備		令和３年４月に子ども家庭総合支援拠点を開設。令和５年１０月に既存の子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）の機能は維持した上で、一体的に相談支援を行う機能を有する機関として、「こども家庭センター」を新たに開設。保健センターと市役所本庁舎にそれぞれ「こども家庭センター」（通称：わらべび、わらここ）を設置し、連携して一体的な相談支援を実施した。						子ども未来課
	こども医療費無料化の拡大		令和５年度は、１８歳までのこども医療費について、入院分の助成に加え、通院分についても助成を拡大するためのシステム改修を実施（令和６年４月１日診療分より、１８歳までのこども医療費完全無料化を実施）。						子ども未来課	
②待機児童ゼロを目指した保育の充実	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
		認可保育園数	13園	14園	14園	15園	15園	15園	子ども未来課	
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容						担当課
		保育園の更なる増設		令和２年４月に「蕨錦町ゆたか保育園」、令和４年４月に「わらび星の子保育園」を開設。						子ども未来課
		学童保育室の更なる増設		民間留守家庭児童指導室実施事業者を公募し、令和２年４月に「キッズクラブ塚越」、令和３年４月に「キッズクラブ北町」、令和４年４月に「キッズクラブ蕨」を開設（令和６年４月に「キッズクラブわらび西」を開設）。						子ども未来課
③地域力を活かした「わらびっ子」の育成	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
		教育センターにおける教職員研修の実施回数 ※令和５年度以降はWEB会議や新庁舎等での研修を含む	13回	80回	89回	92回	90回	90回	学校教育課	
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容						担当課
		教育センターの機能充実		令和２年度中に教育センターに学校と同じＩＣＴ環境として、無線ＬＡＮ、研修生用端末、指導者用端末、大型ＴＶ、プロジェクター等を整備。また、この他に市内小・中学校の教員へ優れた指導案や教材等を共有するための教材用ノートＰＣも併せて整備（令和６年度に全研修室の照明をＬＥＤ化、キャスター付き長机、椅子の整備）。						学校教育課
		コミュニティスクール事業の展開		令和元年度に塚越地区の東小学校・塚越小学校・東中学校の３校、令和５年度より西小学校・北小学校・第二中学校の３校による学校運営協議会を発足し、ＰＴＡや学校応援団などの代表者らの参画を得ながら、学校運営・経営に取り組むコミュニティ・スクールの活動を推進している。（令和６年度より、南小・第一中学校の２校、単独校として中央小学校、中央東小学校で学校運営協議会を実施）。また、児童・生徒の学校生活をサポートしてくださる方々を登録するための人材バンクについては、令和５年度末時点の登録者数が1,051人となった。						学校教育課
		学校ＩＣＴの整備など学習環境の充実		令和２年度に、児童・生徒一人一台の端末整備を実施。全小・中学校において校内無線ＬＡＮ工事を実施。授業等におけるタブレット端末の効果的な活用などを通じて児童・生徒のＩＣＴ活用能力の向上を図った。						教育総務課 学校教育課
		学校体育館へのエアコン設置		令和３年度に中学校３校、令和４年度に小学校２校、令和５年度に小学校２校の設置工事を実施（令和６年度に小学校３校（西小学校・中央東小学校・塚越小学校）の設置工事を実施予定）。						教育総務課
英語教育の充実		ＡＬＴの小中学校全校配置については令和２年４月に完了。当初は、英検受験料補助について検討していたが、より効果が見込まれる中学校２、３年生を対象とした、英語４技能テスト、教員研修、ＧＩＧＡスクール端末を活用した外国語学習等を組み合わせて行うＧＴＥＣを選定し、令和３年度から公費負担で実施。						学校教育課		

基本目標Ⅲ みんなにئاتたかく健康に生活できるまち （３）イキイキわらび！健康密度日本ープロジェクト

数値目標	指標		現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	健康に気配りしている市民（成人）の割合（市民意識調査）		81.2%	84.4%	83.3%	86.8%	87.7%	87%	保健センター
①協働による健康まちづくりの推進	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
		健康長寿蕨市モデル事業参加者数	210人	506人	1,443人	1,669人	1,723人	500人	保健センター
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容					担当課
		健康長寿蕨市モデル事業の推進		「一日8,000歩と中強度の運動20分」と「埼玉県コバトン健康マイレージ」を組み合わせた健康長寿蕨市モデル事業を実施。蕨市独自抽選会の開催や埼玉県コバトン健康マイレージ参加者で１年間毎日参加し、１日平均8,000歩以上歩かれた方を健康まつりで表彰するなど市民の健康づくりの定着を図った。また、令和６年度より埼玉県コバトン健康マイレージからコバトンALKOOマイレージに切り替わるため、チラシの配架やホームページなどで周知を行った。					保健センター
		介護予防事業の実施		令和5年度は、介護予防事業として、住民運営の通いの場（いきいき百歳体操教室）の立ち上げと継続の支援などを実施。「いきいき百歳体操」活動グループは累計19団体、住民運営の通いの場（いきいき百歳体操教室）を支援する介護予防サポーター養成講座の修了者は累計202人となった。また、いきいき百歳体操の継続に向けて、介護予防サポータと世話人を対象に「いきいき百歳体操を考える会」を開催し、事業継続に向けた役割や支援体制などの見直しを図る取り組みを実施した。 そのほか、65歳以上の市民を対象に、口腔機能の測定や、口腔機能・栄養等の話を歯科医師や管理栄養士から学ぶ、「お口いきいき教室」を5日間のコースを2回、フレイル（虚弱）を予防するための運動、栄養、口腔機能の複合的な教室として、フレイル予防教室は、４日間のコースを３回実施した。また、簡単な体力測定等を行い、その結果をもとに専門職と個別に健康相談や結果に応じた相談や生活上のポイントや参加できる講座、サロン等の情報を提供する「からだ健康チェック会」を実施した。					健康長寿課
②市立病院の充実と健康診査・検診の促進	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
		特定健康診査の受診率	44.4%	40%	38.7%	39.2%	37.0%	60%	医療保険課
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容					担当課
		「市立病院将来構想」に基づく市立病院の充実・発展		施設整備の基本方針については、令和元年度に設置した施設整備検討委員会で検討を進め、令和5年11月に移転建替えが適当であるとする報告書を作成。その後、蕨市立病院整備検討審議会での審議や住民説明会を経て、令和6年3月26日に市として移転建替え方針（西公民館・松原会館を含む一体的な敷地での移転建替え）を正式決定した。また、医師確保については、令和２年５月に消化器内科医師、同年９月に整形外科医師について常勤医師を確保した。					市立病院事務局庶務課
		特定健康診査等の受診促進		受診率向上を目指して以下の取り組みを実施した。 ①効果的な広報啓発活動 ②受診勧奨通知の送付 ③ＳＭＳによる受診勧奨 ④早期受診キャンペーン ⑤本人や医療機関からの健診結果の提供 ⑥３９歳の人への特定健診事前案内通知					医療保険課
③だれもが自分らしくイキイキと暮らし、活躍できる環境づくり	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
		就労や地域等で活動しているシニアの割合（市民意識調査）	48.0%	59.0%	44.5%	54.2%	53.5%	55%	関係課
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容					担当課
		だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築		地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施。 ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会、在宅医療講演会、医療・介護連携ネットワーク会議を継続実施。 ②認知症地域支援推進員の選任、認知症サポーター養成講座のほか、認知症サポーターステップアップ講座の実施、認知症普及啓発イベントとして、認知症への理解を深めるための映画上映会を開催、徘徊高齢者に対してＧＰＳの設置を助成する徘徊高齢者等家族支援サービス利用助成の対象を拡大、認知症初期集中支援チームの設置を継続実施（チーム実働は、令和元年度１件、令和２年度２件、令和３年度０件、令和４年度０件、令和5年度０件）、コロナ禍において休止していた認知症カフェの運営については、５か所のうち、３か所が再開した。 ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを選任。地域・福祉・ボランティア関係者による蕨市地域支え合い推進協議会や地域住民が地域課題を話し合う座談会、ボランティア活動について啓発する生活支援サポーター養成講座を継続実施（生活支援サポーター養成講座修了者は累計９７人）、有償ボランティアの活動件数1,121件、高齢者に外出を促すために作成した「おさんぽマップ」のコースを市内５地区をめぐる「元気お散歩ラリー」の実施。 ④介護予防事業として、住民運営の通いの場（いきいき百歳体操教室）の立ち上げと継続を支援（一部休止あり。介護予防サポーター養成講座修了者は累計２０２人、「いきいき百歳体操」活動グループは累計１９団体）。また、簡単な体力測定等を行い、その結果をもとに専門職と個別に健康相談や結果に応じた相談や生活上のポイント、参加できる講座・サロン等の情報を提供する「からだ健康チェック会」を実施（参加人数は、令和５年度４３人）。 ⑤ケアマネジャー及びサービス事業所による高齢者ケア向上を支援する自立支援型地域ケア会議を月１回実施。					健康長寿課
		障害者入所施設の広域的検討と暮らしの場確保策の検討		入所施設やグループホームの整備については、川口市・戸田市（３市障害福祉連絡会議）や関係性のある複数の社会福祉法人と情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行い、国庫補助金の確保については、これまでに国及び埼玉県へ要望書を提出しており、令和５年度にも提出した。また、施設整備に当たって課題となる運営を担う法人、土地、建設資金の確保などについて見直しを実施し、課題克服の方策について研究・検討を行った。					福祉総務課
		手話言語条例の制定		蕨市聴覚障害者協会、蕨手話サークル及び蕨市手話通訳者派遣事務所とともに、令和元年度より手話言語条例制定準備会を計４回開催。条例制定に向けて準備を進め、令和３年３月２３日に「蕨市手話言語条例」制定、令和３年４月１日に施行した。					福祉総務課
		シニアの社会参加と就労支援		蕨市シルバー人材センターに対して運営費等の補助を実施するなど高齢者の生きがいづくりの場の確保や就労支援等の促進を図った。なお、令和５年度の会員数は、目標４００人に対して３０８人（前年比１９人減）となった。また、就労希望者に対して、国や県等の就労関連情報の提供や相談窓口の案内を行った。					商工観光課 市民協働課 健康長寿課 生涯学習スポーツ課

基本目標Ⅳ にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち （４）ワクワクわらび！にぎわい創出プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値					目標値	担当課	
			平成 2 9 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
	中心市街地における休日の歩行者・自転車の通行量		38,627人	未実施	未実施	未実施	未実施	43,585人	商工観光課		
①蕨ブランド などの地域資源の更なる活用・展開	K P I	指標	現状値	実績値					目標値	担当課	
			平成 2 9 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
		蕨ブランド認定品の数	5件（累計）	10件（累計）	10件（累計）	16件（累計）	16件（累計）	15件（累計）	商工観光課		
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容							担当課
		蕨ブランドの更なる活用・展開		蕨ブランド認定品については、令和４年度に第三期となる蕨ブランド認定品の募集・審査を行い、新たに６件の商品を蕨ブランドとして認定し、認定品の累計は１６件となった。 蕨ブランド認定品の更なる周知を図るため、JR大宮駅前のプロモーション施設「まるまるひがしにほん」で蕨ブランド認定品販売会「蕨祭」を開催（令和４年度、５年度）したほか、各種イベントで蕨ブランド認定品ブースを設けるなど、蕨ブランド認定品のPRに努めた。 また、蕨市立東小学校の３年生が蕨市の特産品・名産品について調べる総合学習（令和３年度～５年度）において、「どうしたら蕨ブランド認定品を沢山の人たちに知ってもらえるか」をテーマに、認定品事業者８社の協力の下で学習をした。学習のまとめとして、子どもたちが蕨ブランド認定品を広めるアイデアを各事業者に提案し、発表会という形で事業者に披露した。							商工観光課
		ホームページ等の活用による魅力発信とシティプロモーションの推進		だれもが利用しやすくまちの魅力を発信するホームページを目指して、リニューアルを実施し、令和２年１月から運用開始。スマートフォンや多言語への対応、カラーセル表示や特設ページ（まちの魅力発信、新型コロナウイルス関連情報等）、動画を活用した情報発信を実施。							秘書広報課 政策課
		河鍋暁斎記念美術館と連携したまちづくりの推進		河鍋暁斎の更なる魅力発信を目的に、引き続き、広報紙やケーブルテレビで展覧会の内容を紹介したほか、令和元年度の新年あいさつ交歓会から河鍋暁斎の絵（十二支）が施された酒器を記念品として配布（令和２年度のみ、新型コロナウイルス感染症の影響で、あいさつ交歓会が中止となったため、酒器の販売を実施）。また、令和２年６月に歴史民俗資料館内に河鍋暁斎コーナーを設置。							秘書広報課 関係課
②蕨を元気に！中心市街地の活性化	K P I	指標	現状値	実績値					目標値	担当課	
			平成 2 9 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
		サブリース事業による出店、または空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した件数	※新規事業のため 現状値はありません	2 件 （令和元年度からの累計）	2 件 （令和元年度からの累計）	6 件 （令和元年度からの累計）	11件 （令和元年度からの累計）	15件（累計）	商工観光課		
	具 体 的 事 業	事業名		取り組み内容							担当課
		中心市街地活性化基本計画の着実な推進		令和３年度に中心市街地活性化プランを策定。令和４年度から、同プランに基づく各種事業に着手し、エリアリノベーション事業では、（仮称）蕨市エリアリノベーション推進協議会の設置に向け関係機関と調整、空き店舗対策やにぎわい交流拠点の整備に向けては、市内空き店舗の調査をはじめ、他市先行事例の視察や商業開発を展開しているディベロッパーとの協議を進めた。また、にぎわい創出事業では、市内商店や名所を巡る「蕨周遊ツアー」や商店の方を講師に招いて行う体験型講座「知って得するワンポイントゼミナール」の開催、「さよなら私のクラマー」のショップカード作成などコラボ企画を推進し、市外からアニメファンが訪れるきっかけづくりに努めた。さらに、経営体質の強化事業においては、国の補助金を受け るための経営革新計画や、新型コロナ感染症の影響を受けている事業者が、国の事業再構築補助金を受けるための計画策定のほか、本市において新たに創業を希望する事業者への支援等を行うなど、約 7 0 事業所に対する支援を行った。 令和５年度は、蕨商工会議所にて空き店舗所有者60件を対象としたアンケートを実施し、回答のあった25件のうち空き店舗活用に前向きな回答のあった５件について、貸店舗化に向けたヒアリングを実施したほか、3月には蕨市、蕨商工会議所、金融機関、不動産、蕨市にぎわいまちづくり連合会等で構成された蕨市エリアリノベーション推進協議会を設立した。また、令和５年度は５件が空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した。							商工観光課
		蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進		事業計画の作成や組合設立に関する権利者の同意取得など、組合設立認可（事業認可）に向けた（準備）組合の活動に対し、必要な協議、支援を行い、令和２年８月に組合設立認可、令和４年８月には権利変換計画の認可を埼玉県から受け、既存建築物等の除却解体工事に着手した。令和５年８月に施工業者が決定し、令和６年１月から施設建築物等の本体工事に着手した。							まちづくり課
		関係機関との連携による空き店舗対策の推進		埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組み、サブリースにより、「WARABI SELECT SHOP」が令和元年１０月にオープンしたほか、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、「貸店舗見学ツアー」の実施、空き店舗有効活用事業の認定店舗の拡大など、同制度の活用を促進する体制を整えた。令和元年度からの蕨市空き店舗有効活用事業補助金及びサブリース事業を活用して出店した件数は累計11件となった。 また、令和４年度からは、中心市街地活性化プランに基づいて実施していくエリアリノベーション事業において、一般社団法人蕨ブランド協会が実施主体として、創業希望者の支援をはじめ、空き店舗のリノベーションや、貸店舗をためらうオーナーとの間に入り、サブリースの手法を用いて空き店舗対策を行うなど、エリアマネジメントに取り組んでおり、令和５年３月に、蕨市、蕨商工会議所、金融機関、不動産、蕨市にぎわいまちづくり連合会等で構成された蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置した。							商工観光課

		商店リニューアル助成制度の創設	地域課題の解決、集客力の向上又は売上げの増加を図るための魅力ある店舗づくりに取り組む事業者に対し、店舗改装費用等の一部を補助することにより、商業の活性化及びにぎわいの創出を図ることを目的として、「商店リニューアル助成制度（魅力ある店舗づくり支援事業）」を創設（令和５年度）し、申請のあった市内30店舗に対し、補助金の交付を行った。					商工観光課		
③人材を育て 活かす学びと スポーツの推進	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	実績値 令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課	
		市民音楽祭の参加者数	2,496人	112人	554人	2,221人	6,618人	4,000人	生涯学習スポーツ課	
	具 体 的 事 業	事業名	取り組み内容							担当課
		音楽によるまちづくりの推進	蕨市民音楽祭については、令和元年度は１３会場２１イベント（参加者４,３０１人）、令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信等により３イベント、令和３年度も同様に、動画配信や一部のイベントの開催時期を延期する等の措置を行い８イベント、令和４年度からは有観客で開催し、３会場８イベント（参加者２,２２１人）、令和５年度は８会場１４イベント（参加者６,６１８人）を実施。小・中学校への音楽家派遣については、令和元年度は９校９事業、令和２年度は５校７事業、令和３年度は６校８事業、令和４年度は７校８事業、令和５年度は７校７事業への派遣を行い、子どもたちが良質な音楽に触れ、音楽に親しむ機会を提供した。今後も、多くの方が参加できる多様な音楽イベントを開催していくとともに、公式ＳＮＳ等を通じた情報発信を定期的に更新していくことで、より広く当事業を周知し、まちの賑わいを創出するよう努めていく。							生涯学習スポーツ課 関係課
		オリンピック・パラリンピックへの気運醸成と生涯スポーツの浸透	（オリンピック・パラリンピックへの気運醸成） ・オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火ビジットについては、令和３年に延期されるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い規模を縮小したものの、大会組織委員会や埼玉県等との連携のもと予定どおり開催され、オリンピック・パラリンピックの気運醸成が図られた。 （生涯スポーツの浸透） ・スポーツ施設の利用を充実させるため、公共スポーツ施設予約システムを導入しており、住んでいる地域に限らず屋外スポーツ施設や市民体育館を簡単に予約し、利用ができるよう環境を整えている。また、令和２年度、３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ロードレース大会をはじめ各種スポーツイベントが中止となったが、令和４年度は市民水泳大会など一部イベントの再開、令和５年度は、コロナ禍前に行っていたイベントについて再開（天候により一部中止）することができた。今後も引き続き、地域に根付いたスポーツイベントの開催を通じて、市民がスポーツに参加する機会を設けていく。							政策課 生涯学習スポーツ課

基本目標Ⅴ 快適で過ごしやすく環境にやさしいまち （５）住マイルわらび！暮らし快適プロジェクト

数値目標	指標		現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により定住する子世帯数		—	23世帯	39世帯 (令和２年度からの累計)	52世帯 (令和２年度からの累計)	77世帯 (令和２年度からの累計)	80世帯 (令和２年度からの累計)	建築課
①快適で魅力 ある都市基盤 整備の推進	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	I	錦町土地区画整理事業区域（85.1ha）内の整備面積	50.8ha	54.0ha	55.5ha	56.3ha	56.9ha	56.0ha	区画整理課
	事業名		取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業	平成２７年１０月に施行した蕨市三世代ふれあい家族住宅取得補助金交付要綱について、令和５年１１月に令和８年度末までに再延長。令和２年度は２３世帯、令和３年度は１６世帯、令和４年度は１３世帯、令和５年度は２５世帯へ補助を行った。						建築課
		錦町土地区画整理事業の推進	令和５年度は、家屋移転１２戸に加え、路線延長２０９．７mの街路築造工事等を実施。整備面積は、令和２年度に１．３ha、令和３年度に１．５ha、令和４年度に０．８ha、令和５年度に０．６haの整備を行った結果、令和５年度末では５６．９haとなった。						区画整理課
		中央第一地区まちづくり事業の推進	道路等の地区公共施設の整備を進めており、令和５年度には区画道路６号の一部を拡幅整備し供用を開始した。地区公共施設用地については、令和２年度に２件・約１２３㎡、令和３年度に１件・約４㎡、令和４年度に３件・約１２８㎡、令和５年度に２件・約１１３㎡を取得し、令和５年度末時点の取得済面積を約１，３４９㎡とした。						まちづくり課
		都市計画マスタープランの策定	令和元年度は、関係各課へのヒアリングなどを踏まえ、都市づくりの目標及び都市整備分野別方針の案を作成後、都市計画審議会において、意見を聴取。令和２年度は、主に地域別方針について、市民の方との意見交換会や都市計画審議会を開催し、計画案のとりまとめを行った。令和３年度は、６月にパブリックコメントを実施、８月に都市計画審議会を開催し、１０月に都市計画マスタープランを策定した。						まちづくり課
②循環型で環 境にやさしい まちづくり	K P I	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	I	花いっぱい運動を行う公園等の団体数	43団体	41団体	41団体	40団体	40団体	46団体	安全安心課 道路公園課
	事業名		取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	花いっぱいのまちづくり	令和５年度は、リサイクルフラワーセンターで生育された花苗を公園の自主管理団体等に約35,000鉢配布した。また、エコキャップと花苗交換会について、令和５年度は6会場（延べ18回）で開催し、エコキャップ668,621個と花苗6,599鉢を交換した。						安全安心課 道路公園課
		道路照明灯等のLED化	令和２年度にＬＥＤ道路照明灯設置調査実施。令和３年度にＬＥＤ道路照明灯を賃貸借契約し、令和４年２月設置完了済。						道路公園課

基本目標Ⅵ 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち （６）わがまちわらび！市民が主役プロジェクト

数値目標	指標		現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	まちへの愛着（市民意識調査）		68.7%	71.4%	69.5%	71.8%	74.7%	75%	政策課
①多様な主体との協働による、市民が主役のまちづくり	K	指標	現状値 平成２９年度	令和２年度	令和３年度	実績値 令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	担当課
	P								
	I	蕨市協働事業提案制度への応募件数	26件（累計）	48件（累計）	54件（累計）	59件（累計）	63件（累計）	52件（累計）	市民協働課
	事業名		取り組み内容						担当課
	協働事業提案制度の活用		令和２年度については、実施予定（令和元年度採択分）の５事業が新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施を見合わせ、状況を考慮しながら令和３年度に延期して実施する予定となった。また、令和２年度中に「新型コロナウイルス感染症対策事業」を指定テーマとして、協働提案事業の募集を行い、６事業の応募があり、５事業を採択。 令和３年度については、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施を見合わせていた令和元年度採択分の５事業と令和２年度採択分の５事業の計１０事業を実施する予定であったが、新型コロナの影響により、うち４事業が辞退となり６事業を実施した。また、募集については、指定テーマの「ウィズコロナ・アフターコロナ期における地域活性化事業」には３事業の応募がそのまま採択され、自由テーマでは３事業の応募のうち２事業が採択された。 令和４年度については、令和３年度採択分の５事業を実施した。また、募集については、指定テーマの「SDGsを活かした地域活性化事業」には３事業、自由テーマには２事業の計５事業の応募があり、全てが採択された。 令和５年度については、令和４年度採択分の協働事業提案制度の５事業を実施するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の浸透・普及や目標達成につながる社会的課題の解決に向けた事業提案を募集するため、新たに「SDGs提案制度」を創設した。新制度において、指定テーマの「わらびecoチャレンジ事業～ストップ温暖化～」に２事業、自由テーマに２事業の計４事業の応募があり、すべてが採択された。なお、令和５年度までの応募件数は累計６３件となり、そのうち５０事業が採択された。						市民協働課
	防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進		令和２年度については、以下のとおり６件の協定を締結した。 PayPay株式会社と「キャッシュレス推進に関する包括連携協定」、株式会社ルネサンスと「蕨いきいきキッズプロジェクト」の実施に関する協定、京都大学（COI拠点研究推進機構）と株式会社ほっこりーのプラスとの連携協力に関する協定、埼玉県LPガス協会川口支部と「災害時におけるLPガスの提供等に関する協定」、株式会社イトーヨーカ堂と「災害時における物資供給に関する協定」、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総社と「大規模災害時における電力復旧等に関する協定」 令和３年度については、以下のとおり４件の協定を締結した。 株式会社ビバホームと「災害時における防災活動協力に関する協定」、明治安田生命保険相互会社と「包括連携に関する協定」、日本アンテナ株式会社と「ワクチン接種事業連携協力に関する協定」、埼玉県行政書士会と「災害時における被災者支援に関する協定」 令和４年度については、以下のとおり４件の協定を締結した。 富士測地株式会社と「災害時における被害調査の支援に関する協定」、株式会社アクティオと「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」、静岡県焼津市と「原子力災害時における焼津市民の県外広域避難に関する協定」、株式会社セキ薬品と「災害時における物資供給等の協力に関する協定」 令和５年度については、以下のとおり８件の協定を締結した。 株式会社両毛ビジネスサポートと「水道施設災害等発生時における応援協定」、蕨市管工事指定店組合と「震災時等における緊急給水及び復旧工事の協力に関する協定」、シナネンモビリティPLUS株式会社及びOpenStreet株式会社と「蕨市シェアサイクル事業の実証実験に関する基本協定」、株式会社エルフェンススポーツクラブと「サポータータウンに関する協定」、東京医科大学と「包括連携に関する協定」、ソフトバンク株式会社と「DXの推進に関する連携協定」、大塚製菓株式会社と「包括連携協定」、株式会社ルネサンスと「災害時における施設開放及び運動支援に関する協定」						安全安心課 福祉総務課 健康長寿課 関係課
	協定自治体との連携推進		・群馬県片品村については、わらびりんごの生産体制の拡大に向けて、片品村農家との連携により苗木５０本を育成したほか、片品村で収穫されたわらびりんごの果汁を民間事業者に提供し、「わらびりんごサワーエール」の開発支援につなげた。また、片品村の道の駅においてわらびりんごシャーベットを販売いただいているほか、令和５年度には片品村で開催された「自治体交流フェア」に参加し、蕨ブランド認定品や蕨市マスコットキャラクターグッズのPR・販売を行うなど、地域資源の活用等を通じて連携を図った。更に、第３次蕨市環境基本計画に基づき進めている脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、片品村内にある森林を両自治体が連携して整備を行い、二酸化炭素吸収量の増加を図り、その吸収分を蕨市の二酸化炭素排出量から相殺する「カーボン・オフセット」事業の準備を進めた（「森林整備の実施に関する協定」を締結（令和６年５月））。 ・静岡県湖西市については、中仙道武州蕨宿場まつりのパレードにて名物の大太鼓を披露いただくなど相互交流を図った。 ・栃木県大田原市については、「災害時相互応援協定」の推進に向けて、現地訪問を含めた情報交換を行うなど、防災体制の連携強化を図った。 ・この他、例年開催している蕨市総合防災演習には、防災協定締結先自治体からも参加をいただいているほか、ふれあい交流協定を締結している片品村と大田原市の宿泊施設を利用する蕨市民に対し、１人１泊１５００円を上限にした「宿泊費助成制度」（令和６年４月開始）の準備を進めるなど、各分野において連携を推進している。						関係課
	男女共同参画の推進		蕨市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を創設し、令和５年７月から運用開始（令和５年度の届出件数は５件）するとともに、令和６年３月に「男女共同参画パートナーシッププラン（第３次）」（計画期間：令和６年度～１５年度）を策定した。また、引き続き、男女共同参画に関する啓発事業（男女共同参画作品募集事業、啓発パネル展、啓発紙「パートナー」の発行）を実施したほか、講演会・セミナー等については４件開催した。						市民協働課

②AI等の新たな技術の活用と市民が親しみやすいまちづくり	K P I	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	実績値 令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課
		AI等の新たな技術を活用した事業数	※新規事業のため 現状値はありません	1事業	2事業	3事業	5事業	2事業	政策課 情報管理課
	具 体 的 事 業	事業名	取り組み内容						担当課
		多文化共生のまちづくりの推進	令和3年度については、蕨市多文化共生指針を策定し、令和4年度は、指針に掲げた各種施策を推進するために、庁内の関係部署との連携及び市民との連携・協働により、多文化共生に関わる現状や課題等の共有、各種取り組みの改善等、指針の進捗管理を行った。令和5年度は、10月より外国人総合相談窓口を開設し、英語と中国語の話せる相談員を配置するとともに、タブレット端末やポケトーク等の翻訳機の設置、外国人生活ガイドブック（4カ国語）を作成した。						市民協働課 関係課
		市民が交流できる新庁舎と駅西口公共公益施設の整備	（新庁舎） ・令和5年10月10日に全面開庁した新庁舎は、外観に蕨の伝統織物「双子織」の特徴的な色彩を織り込んだルーバーを取り入れ、わらびりんごの木などの植栽やベンチを並べた広場等を整備するとともに、庁舎内には来庁者がくつろげるカフェスペースや、講演会・イベント等に活用できる多目的会議室を設けるなど、市民の皆さんに親しまれ、いっそう交流が育まれる新たなまちのシンボルとなる建物として整備した。 ・窓口案内表示に係るデジタルサイネージなど利便性向上を図る機能の導入について、令和4年12月より広告付き番号案内窓口受付システム等設置事業者の公募を行い、プロポーザル方式により5年2月に事業者が決定。新庁舎開庁に合わせて、窓口案内表示システム等の運用を開始するとともに、住民票等の自動交付機の導入など窓口の利便性向上を図った。 （駅西口公共公益施設の整備） ・駅西口公共公益施設について、蕨駅西口地区市街地再開発事業における方針として、「図書館」及び「行政センター」の複合施設を整備することが平成30年11月に決定したことを踏まえ、運営形態の検討を進める中で、各種事業者等のヒアリングを実施するなど、民間活力の導入も含め、様々な角度から情報収集・検討を進めている。						政策課 庁舎建設課（政策課） 市民課 まちづくり課 市立図書館
		婚活事業への支援	A Iによるマッチングや相談員による婚活支援を受けることができる「SAITAMA出会いサポートセンター」について、蕨市民が利用料金の減免を受けることができるよう、令和2年4月に蕨市として会員登録を行うなど利用促進に向けた支援を行った。なお、令和5年度末の蕨市民の会員登録者数は男性100人、女性58人、計158人。						政策課 関係課